

てんだあ 第44号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2018年4月

〒295-0004 千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



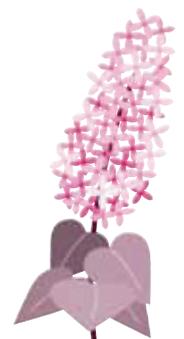
CONTENTS ~主な内容~

- 第12回南房総市社会福祉大会 2P・3P
- 福祉作文…………… 4P・5P
- 福祉ニュース…………… 6P
- 共同募金報告…………… 7P
- ボランティアネット(和)ーク…………… 8P
- ワンポイント介護…………… 9P
- 善意の寄付、お知らせ…………… 10P

抽選会場は大盛り上がり

第5回南房総市ボランティアまつりで行われた抽選会は、地域のボランティアの声かけで、多くの協賛品が集まりました。豪華景品もあり、何が当たるかドキドキワクワクしながらくじを引き、ビッグな商品が当たった時は歓声が上がりました。

ご協力いただきました商店・個人の方々ありがとうございました。



ライラック
花言葉：謙虚





ひとりひとりの想いが大きな輪へ それは笑顔のまちづくりへ向けて

第12回 南房総市社会福祉大会を開催

2月10日(土)三芳農村環境改善センターにおいて、第12回南房総市社会福祉大会が開催されました。

地域福祉活動に功績のあった方々や団体の皆さんへの表彰と感謝状の贈呈、市内小学校児童より応募のあった赤い羽根募金箱コンクール優秀作品の表彰、市内小中学校・高等学校から寄せられた福祉作文コンクール優秀作品の表彰とともに、小学生の部と中学生・高校生の部から共に最優秀作品の方々による作文発表があり、会場は温かい雰囲気になりました。

その後、二代目 林家木久蔵さんによる記念講演では、会場は満席になり、盛り上がりました。

また、同時開催された市ボランティア連絡協議会主催による「第5回南房総市ボランティアまつり」も大盛況で、出展会場は大勢の来場者でにぎわいました。



地域福祉活動功労団体の表彰

表彰された皆様おめでとうございます

南房総市社会福祉協議会長表彰 (敬称略)

【地域福祉活動功労者】

山口 満、山本初治、香田達成、新垣美千代、岡崎重夫、小原将己、花島光子、西田保政、加瀬久代

【地域福祉活動功労団体】

おれんじの会(千倉地区)、和田町朗読ボランティア(和田地区)、花の里ボランティア(和田地区)

南房総市社会福祉協議会長感謝状 (敬称略)

【個人】

生稲妙子(富浦地区)、池田幸雄(和田地区)

【団体】

演歌親睦協会千葉県事務局(丸山地区)
社協役員永年功労)

茂木正美(千倉地区)、渡辺宏(富山地区)、後藤中一(千倉地区)、藤井昭雄(白浜地区)、川名紀夫(千倉地区)

【福祉作文コンクール優秀作品表彰】

小学生の部

最優秀賞 鎌田真実(南三原小)



福祉作文コンクール小学生の部表彰

優秀賞 小沢莉功(三芳小)

長谷川友菜(和田小)

優良賞 池田海颯(富浦小)

高梨天音(南小)

松本和(和田小)

中学生・高校生の部

最優秀賞 井野百合乃(富山中)

優秀賞 松田一希(富山中)

渡邊詩音(安房拓心高)

優良賞 塩沼光碧(三芳中)

牧野央奈(白浜中)

山口真輝(千倉中)

小学生低学年の部

デザイン賞



鎌田さとみ(三芳小)

アイデア賞



岡田卓也(千倉小)

銅賞



小川ひかり(白浜小)

銀賞



渡邊花音(南小)

金賞



高橋尊愛(和田小)

赤い羽根募金箱コンクール優秀作品表彰 (敬称略)

小学生高学年の部

デザイン賞



高橋芽愛(和田小)

アイデア賞



松井川輝良(南小)

銅賞



柴田美玲(富山小)

銀賞



安田知央(千倉小)

金賞



加藤友規(富山小)

記念講演

笑うことが健康で長生きに!!

落語家 林家 木久蔵さん

『木久蔵流 笑うが一番』と題し、落語家林家木久蔵さんにお話をいただきました。

笑うのがどれだけ体にいいか、笑うことがストレス緩和されることや、健康のためにいいとされ、ご長寿や長生きの秘訣になることを、面白おかしく話してくださいました。

昔、父親とリウマチ学会で落語会を行い、落語を聞く前と聞いた後の血液検査では、つい笑ってしまう落語と人情話の落語では、どちらも同じような数値になり、人はいかに感情豊かに生きることが大事で、健康や長生きにつながるが見えてきたと話されました。

父親が落語家でテレビに出ていたことから、幼少期にからかわれたことも多かったことや落語界に入った理由も、ユーモア溢れる内容で終始会場は、大きな笑い声があがっていました。

終わりに、落語の披露もあり、プロの話芸の素晴らしさに深く引きこまれました。

聴講された皆さんから盛んな拍手が送られ、笑うことがこんなにも心を温かくさせてくれるということを改めて感じ、大盛況に終わりました。



笑うことが健康への第一歩!

育まれる、福祉の心、福祉作文コンクール最優秀作品

市内の児童・生徒の皆さんが体験した「おもいやり、たすけあいの心」をテーマとした作文431編もの応募があり、その中から選ばれた最優秀作品を紹介します。

最優秀賞
《小学生の部》

「大すきな ふくばあ」

南房総市立南三原小学校

1年 鎌田 真実

わたしには、ばばと、ふくばあがいます。

ばばのいえにいくと、いつもふくばあは、こたつにすわって、いねむりをしています。

大きなこえで「ふくばあ。」とよぶと「おかえり。」といつてくれるので、わたしも「おかえり。」とこたえます。

ふくばあとは、手あそびをしたり、けいさんや、え本をよんだり、うたをうたったりしました。

むかしばなしをきかせてくれて、いっしょに、おやつをたべたりもしました。

ケーキとトマトが大すきで、にんじんがきらいなふくばあは、わたしといっしょで白いごはんが大すきです。

そんなふくばあが、12月27日のあさ、トイレにいつてころんでしまいました。

右手のほねが、おれてしまっ

たのです。

目をつぶって、いつもよりも、かおにしわがいつぱいに見えま

す。

わたしは、いたそう、つらそう、かわいそうとおもいました。

それから、ふくばあは、ずっとベットにいます。

だから、わたしはまいあさふくばあのベットにはいつて、「おはよう。」とあいさつをして、あたたかいふとんにふくばあとならびます。

ふくばあは、ゆつくりと「おはよう。」といつても、なかなか目をあけてくれません。

あつあつのタオルでかおをふいて、入れば入ると、いつものふくばあのえがおで、「はい、ありがとう。」といつてくれます。

だから、わたしは、おちやをのませてあげたり、ごはんを、たべさせてあげたりします。

はじめのころは、口に入れるのがむずかしかったけどふくばあの口のうごきを見ながら、小さくしたり、たべもののせつめいをしたりしながら口に入れると、なんだか、うまくできるよ

うになつてきました。

すこしずつげん気になつてき

たふくばあが、おふるにはいつたとき、右手のいたいところを見て、びつくりしました。

右うでから、わきのしたがかくろく、むらさきいろになつて

いました。

ふくばあは、いつしようけんめいに、いたいのをがまんして

いたんだなど、おもいました。

それから、わたしは、ふくばあがベットのとなりのトイレに

うつるときや、ごはんをたべる

ときには、やさしく、ふくばあがわかるように、ゆつくりとこえをかけてあげるようにしまし

た。

ふくばあは「ありがとう」「いつもありがとう」といつてくれます。

わたしは、ふくばあのおかげで、まいあさはやおきができました。

これからも、大すきなふくばあのベットにいつしよにはいつて、うたをうたったりしたいです。

それと、2月3日には、ふく

ばあちゃんの103さいのおたんじょう日です。

みんなで、おいわいできるよ

うに、大すきなふくばあどケーキをたべたいです。



福祉作文小学生の部
最優秀賞 鎌田 真実さん

最優秀賞

《中学生・高校生の部》

高齢者の気持ち

南房総市立富山中学校

2年 井野百合乃

近年、日本では高齢化社会が進んでいます。その要因として、少子化の進行による若年人口の減少や、医療技術の進歩による生存率の上昇などのことが挙げられています。また、これからは少子高齢化が進むと予測されているため、高齢者と接することも多くなります。

私が幼い頃、よく祖母の家に

遊びに行っていました。長期休みになると、泊まりに行き、たくさんお世話になったことは今でも思い出します。祖母は多くの家事をこなす中で、痛いという言葉は何度も口にしていました。なぜ祖母は家事をしているだけなのに体が痛くなるのか疑問に思ったこともありましたが、疑問に思ったのは祖母だけでなく、町の高齢者にも、なぜそんなにゆっくり階段を下りるのだろうと思いました。しかし、小学五年生の時、高齢者が毎日どのくらい大変な思いをしていたのかを知ることができました。

授業で、福祉について考え、高齢者の体験をしました。まず、高齢者になるためにたくさんの道具を体につけました。耳をふさぎ、周りの音を聞きとりにくくし、目にはゴーグルをつけ視界を悪くし、体が重くなるように重いジャケツトをはおるだけでなく、手首、足首にも重りをつけました。そして、腰をまげるためにベルトを巻き、高齢者の体になりました。動いてみようとしても、力を入れなければ歩くこともできませんでした。一歩、また一歩と足を動かすだけ

でも大変で、十メートルほどの距離でも体が痛くなりました。また、目がまったくと目ってよいほど見えないので、自分がどこに進んでいるかわからず人や壁にぶつかってしまいかもしれない、段差があり転んでしまいかもしれない不安が頭をよぎっていました。一番怖いと思ったのは階段です。いつ踏みはずすかわからないので、とても慎重になりました。他にも、はしを使って豆を皿から皿へ移動させたり、本を読んでみたり、たくさん体験をさせていただきました。私はこの高齢者体験を通して、高齢者の気持ちを知ることができました。

高齢者の方々が町で通りかかると、挨拶をかわしたり、話しかけてくれたりします。そんなあたりまえの日常の中で、たくさん痛みや不安をかかえていると思うと心が痛くなります。高齢者が増えている中で私達が出来ることが手助けをすることです。少しでも楽になってもらうためには、困っていることにいち早く気づき、行動するしかありません。どんなに顔は笑顔でいても、階段を上り下り

する時、重い荷物をもっている時、助けてほしいはずですが、他人だからといって目をそらすのではなく、思いやりをもつことが大切だと思いました。

世界にはたくさん的高齢者がいます。とても元気で、自分のやりたい事ができる高齢者は多くありません。多くの高齢者の方々が、年をとるにつれて、食べたいと思うものを好きなだけ食べることも難しくなっていくと思います。身の周りにはたくさん的高齢者がいると思いますが、頼りきってしまうと、限られたことができることをけずってしまうだけでなく、体に多くの負担がかかってしまいます。一緒に買い物に行つてあげれば、高齢者の方も嬉しいだけでなく事故を防ぐことができます。

私が高齢者体験で得た物は高齢者の気持ちがわかること、また高齢者の方の見方もかえることができました。それまで、高齢者の方困つていても大変そうだなと思っただけで、行動することはありませんでした。しかし、今では、何か私にできることはないのかと探してしまいます。人は助け合わな

ければ生きていけないと実感させられました。それは、高齢者と接する時だけでなく、高齢者以外の人々にも同じことです。まず、その人がどのような気持ちでいるかわかろうと努力をし、よりそってあげることでその人の気持ちを少しでも楽にしてあげることができ

ます。私も年をとり何十年もの年が過ぎれば高齢者になります。その時に、今より少しでも、助け合つていく世の中になるためにはひとりひとりが心がけていけば近づいていきます。そして、困っている人がいたらたとえ知らない人でも助けてあげる、そんなあたりまえのことに、すべての人があたりまえにできている世の中になることを願っています。



福祉作文中学生・高校生の部
最優秀賞 井野百合乃さん

FUKUSI NEWS



災害時を想定して検証しました

被災された方に寄り添って、その方のニーズやさらに隠れたニーズを聞き取るためにはどのような工夫をしたほうが良いのかなどを実際に体験し、改善点などを共有しました。

今後は、受付班やマッチング班、資材班等それぞれ検証し、「災害時における支援活動マニュアル」を作成し、いざという時の地域のつなぎ役になれるよう取り組んでいきます。

1月20日

災害が起きた時のために！ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

今回の災害ボランティアセンター立ち上げ訓練は、二班に焦点を当てて社協職員と災害ボランティアで模擬訓練を行いました。

災害が起きた時に、被災された方から様々な協力依頼が災害ボランティアセンターにはきます。その時に依頼を受け付けるのが二班の役目となります。

福祉ニュース
このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

1月24日

みんなで一緒に掛け声あわせて 「ぺったんぺったん」

ふれあい交流もちつき大会



初めてのもちつきにワクワク

三芳子ども園4・5歳児の園児と園児の祖父母、地域の高齢者との交流行事として開催している「もちつき大会」が今年も行われました。

子どもたちは普段なかなか体験できない餅つきを、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に楽しみました。

つきたての柔らかい海苔・きな粉・あんびん餅をたくさん食べた後は手遊びをしました。最後に大会の準備を下さった三芳の地区社協役員とボランティア連絡協議会三芳支部の方々にお礼のことばと握手で閉会となりました。子ども達からは「お餅おいしかった」「またお餅つきやりたいな」などの言葉が聞かれ、また子ども園からも「この行事はぜひ続けて頂きたい」と言ってもらって、ボランティアの方々も励みになりますと笑顔の輪が広がりました。

2月2日

高齢者の安心の為に 私たちにもできることを

長尾・白浜地区社協合同視察研修

長尾地区・白浜地区社会福祉協議会では、南房総市の高齢者福祉事業で行っている緊急通報システムについて、ALSOKあんしんケアサポート(株)へ視察に行き職員の方から説明を聞きました。

緊急通報システムとは①緊急通報サービス②相談③お伺いコールの3つのサービスを行っています。

具合の悪い時の緊急連絡はもちろん、普段時の健康や介護についての相談、あんしんセンターからの定期的な安否確認を兼ねた連絡コールなどを行っているそうです。

利用できる対象者や対象者によって自己負担額が異なりますが、市内では139名が利用しており、さまざまな相談・連絡の対応を行っているとのことでした。

視察された委員の中には民生委員もあり、地域での見守りアイテムの一つとして今後対象者への利用について必要と思われる方へ声かけをしていこうと話をしていました。



あんしんサービスの説明に皆さん真剣です

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金に ご協力ありがとうございました



● 赤い羽根共同募金 6,580,314円 ● 歳末たすけあい募金 6,550,920円

10月からの赤い羽根共同募金、そして12月からの歳末たすけあい募金では、市民の皆様から多くのあたたかい善意をお寄せいただきました。

行政区を通じての戸別募金、各学校の児童・生徒の皆さん、市内の商店街、各種団体やボランティアの方々など多くの方にご協力をいただきありがとうございました。

地域の皆様から寄せられた募金は市内で支援を必要としている人や、住みよい地域をつくる活動に役立てられています。



赤い羽根共同募金でこのような事業も行われています。



歳末たすけあい街頭募金



地域の中学生が、地域のスーパーと道の駅の店頭で協力を呼びかけ、多くの募金が集まりました。



富楽里



おどや千倉店



おどや白浜店

みなみんふれあい 映画上映会

子どもたちの福祉育成を目的とした福祉映画の上映会を白浜と三芳で開催しました。

両日とも大勢の方々にご来場いただき映画を楽しみました。



皆様の募金が南房総市の福祉のために役立てられました

皆様からご協力いただきました赤い羽根募金は、千葉県共同募金会をとおして次年度南房総市の地域福祉活動へ配分されます。

また、歳末たすけあい募金は、南房総市共同募金会配分委員会において審議し、支援を必要とする方や市内の施設に民生委員さんを通じお届けしました。



広がれ!

ボランティアが活動をしポート

ボランティアネットワーク

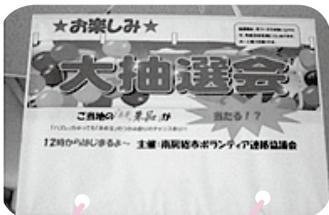
南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました、活動レポートをご紹介します。

第5回

南房総市 ボランティアまつり 開催



ボランティア団体
パネル展示と実演



抽選会



活動発表



第5回ボランティアまつりには、多くの方々にご来場いただき大盛況のうちに終了することが出来ました。人形劇や絵本の読み聞かせ、ダンスや日本舞踊、フラダンスの発表、手作り作品の紹介やパネル展示等、各地区のボランティア活動をご紹介出来たのではないかと思います。

また今年のボランティアまつりの目玉は、「大抽選会」。市内の商店からいただいた協賛品が景品です。大勢の方に参加していただき、豪華な賞品が当たり来場者の皆様は大変喜んでいました。今回初めての企画でしたが、非常に盛り上がりました。

協賛品をご提供してくださいました市内の商店の皆様、ご協力いただき感謝申し上げます。

ボラ登録更新の
お知らせ!

市内で福祉活動をしている **ボランティア** さんを応援!

4月1日
から

平成30年度ボランティア登録の受付が始まります

南房総市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内で福祉活動を展開しているボランティアの育成とその活動を支援するため、平成30年度のボランティア登録の受け付けを行います。(すでに登録されている個人・団体の方も、更新の登録が必要となります。)

登録には、一定の要件を満たすことが原則となっていますが、登録をされた場合、下記の支援が受けられます。ぜひこの機会に登録をお願いします。

◎登録すると・・・

- ① 社会福祉協議会が契約しているボランティア活動保険への加入
- ② 社会福祉協議会が発行する情報誌等への活動内容の掲載や活動に関する相談助言
- ③ ボランティア活動助成金の交付
- ④ 社会福祉協議会ボランティアセンターへ登録した各団体同士の情報交換や交流

登録を希望されるボランティア(個人・団体)の方は、南房総市社会福祉協議会(本所)または、所属する各福祉サポートセンターで登録の手続きができます。



ホームヘルパーの ワンポイント

かいGO 介護

手洗いについて

手洗いの仕方について!

手についた汚れを取るためには、洗い流すことが良いと思います。
 汚れを落とすことをはじめ、血行を良くしたり、温まることで関節の動きをよくするなどの効果があります。
 寝たきりの方や移動が困難な方は手を洗う機会が少ないかもしれません。
 時間のある時に、ぜひ手も洗ってみてください。



手洗いの仕方!

- ①ベッドの上にビニールシートやタオル等を敷いて濡れないようにする。
- ②洗面器の中に手を入れて、少しおく。
- ③石けんをつけて指の間等を丁寧に洗う。
- ④シャワーボトル等に入れたお湯で石けんを十分に洗い流す。
- ⑤タオルでよくふき取る。

※お湯の温度は38℃から39℃で、上がり湯は40℃がよいとされています。

※シャワーボトルはペットボトルのキャップに穴をあけたもので代用できます。

問い合わせは

- 南房総市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス ☎29-5021
- 南房総市社会福祉協議会
ケアプランセンター ☎29-5022

平成30年5月14日(月)～
6月29日(金)

「もったいない」を「ありがとう」に変える活動

フードドライブ《食品の募集》のお知らせ

ご家庭で不要な食品があればぜひ寄贈ください。いただいた食品は「フードバンクちば」が責任を持って福祉関連施設へ、支援団体などを通じて生活に困窮している方にお渡しします。皆様のご協力お待ちしております。

【寄付いただきたい食品】

- 穀類(お米、麺類、小麦等)
- 保存食品(缶詰、瓶詰等)
- 乾物(のり、豆等)
- 調味料各種、食用油
- インスタント食品、レトルト食品
- 飲料(ジュース、コーヒー、お茶等)
- ギフトパック(お歳暮、お中元等)



第17回フードドライブにご協力ありがとうございました

前回(平成29年10月実施)は市民の皆様から、518kgの食品を寄付いただきました。寄付いただいた食品は個人支援のほか子ども食堂への支援にも活用されています。引き続きご協力をお願いします。



【受け取り窓口】南房総市社会福祉協議会(本所) または、お近くの福祉サポートセンターへ

※注意いただきたい点

- ①賞味期限が明記され、かつ2カ月以上あるもの。
- ②常温で保存が可能なもの。
- ③未開封であるもの。
- ④破損で中身が出ていないもの。
- ⑤お米は平成28・29年度産のもの(玄米可)
- ⑥アルコール類は受付けておりません。



たくさんのおまごころ
ありがとうございます。

善意の寄付

敬称略／平成29年12月～平成30年2月

青木板金	10,000円
白浜ゴルフ部	20,100円
株式会社マーシャルマート 働き者倶楽部	28,029円
南房総市組合	16,065円
匿名 6件	129,411円



この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。
ありがとうございました。

第5回南房総市ボランティアまつりで ご協力いただいた方々のご寄付

南房総市ボランティア連絡協議会	1,050円
ステーションそら	500円
もみじ会・オレンジの会	8,000円
平館むつみ会	1,000円
ランチサービスちくら	2,000円
「わたげ」会	1,000円
ふれあい喫茶「なごみ」	1,000円
茶香会	1,200円
なみはらっこくらぶ	1,000円

お知らせ

紙おむつを給付します

南房総市内に在住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に紙おむつを給付します。

○紙おむつ給付事業

対象者	・1日中ベッド上で過ごされ日常のほとんどに介護を要する要介護3・4・5の方 ・身体障害者手帳1級・2級の方 ・精神障害者保健福祉手帳および療育手帳をお持ちの方
品目	紙おむつ 尿取りパット(レギュラー) 尿取りパット(スーパーワイド) フラットタイプの内1品目

○高齢者介護用品支給事業

対象者	・65歳以上で要介護4・5の方、介護をしているご家族 ※要介護高齢者の属する世帯全員が前年度市民税非課税の世帯
品目	紙おむつ 尿取りパット 紙パンツ ※1回あたり25,000円以内

申込期限／平成30年4月27日(金)まで

給付月／平成30年6月

申込先／南房総市社会福祉協議会各福祉サポートセンター

問い合わせ先／南房総市社会福祉協議会(本所)

または、お近くの福祉サポートセンターへ

無料法律相談

～法律に関することでお悩みの方～

時間／午後1時～午後4時

予約・問い合わせ先 ☎44-3577(本所)

開設日	場 所	担 当
4月26日(木)	ちくら介護予防センター	弁護士
5月24日(木)	和田地域福祉センター	司法書士
6月28日(木)	とみうら元気倶楽部	弁護士

- 事前予約申込：随時電話にて予約を受け付けます。
- 定 員：6人(相談はおひとりにつき30分まで)
- その他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

詳しくは 南房総市社会福祉協議会 ☎44-3577

発行・編集

社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸 2705-6

☎44-3577 FAX 44-3542

- ◆とみうら福祉サポートセンター ☎33-4565
- ◆とみやま福祉サポートセンター ☎57-2926
- ◆みよし福祉サポートセンター ☎36-2276
- ◆しらはま福祉サポートセンター ☎30-5122
- ◆ちくら福祉サポートセンター ☎44-3541
- ◆まるやま福祉サポートセンター ☎46-2200
- ◆わだ福祉サポートセンター ☎47-3390
- ◆ホームヘルプサービス ☎29-5021
- ◆ケアプランセンター ☎29-5022

みてみて!



facebook



twitter

